

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
34000	X-21-B-2-340004	2	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択	1年	
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース				
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択	1年	
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	1年	
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×	×
日本経済史	武藤 秀太郎			【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×	
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×	

授業目的

本講義では、17世紀の徳川政権成立から第2次大戦後の経済復興にいたる日本経済の流れをとりあつかう。日本における経済社会の展開、工業化の過程に関する基本的な内容を講義する。とくに比較史的な観点、および日本経済と東アジア周辺地域との関わりを意識しつつ、授業をすすめてゆく予定である。また、今年は1869年1月1日の新潟開港からちょうど100周年にあたる。いわゆる開港5港の1つであり、日本海側唯一の貿易港となった新潟港が果たした経済的な機能について議論してゆきたいと考えている。

各回毎の授業内容

<p>第1回 【授】イントロダクション 【前・後】【予習復習に4時間】高校までで学習した日本史・世界史の知識を復習しておくこと。また、講義で紹介した文献をしっかりと熟読し、自らの見解が示せるようにすること</p> <p>第2回 【授】日本経済史を学ぶ意義 【前・後】【予習復習に4時間】自分なりに日本経済史を学ぶ意義について見解を考えておくこと。また、講義で紹介した研究者の学説などについて、しっかりと理解・確認しておくこと</p> <p>第3回 【授】代表的な経済史観とその時代 【前・後】【予習復習に4時間】代表的な歴史観としてどのようなものがあるか、事前に調べておくこと。また、紹介した関連資料を図書館などでしっかりと調査し、理解すること</p> <p>第4回 【授】徳川政権の成立と「鎖国」政策 【前・後】【予習復習に4時間】いわゆる徳川政権の鎖国政策について、高校の教科書などでしっかりとその概要を把握しておくこと。また、講義で紹介した関連文献をしっかりと熟読すること</p> <p>第5回 【授】徳川政権前期の政治・経済システム 【前・後】【予習復習に4時間】17世紀から18世紀前半にわたる徳川社会の基礎知識について、把握しておくこと。また、講義で紹介した参考文献をしっかりと読んでおくこと</p> <p>第6回 【授】徳川政権後期の政治・経済システム 【前・後】【予習復習に4時間】18世紀後半から19世紀中葉にわたる徳川社会の基礎知識について、把握しておくこと。また、講義で紹介した参考文献をしっかりと読んでおくこと</p> <p>第7回 【授】幕末開港と東アジア 【前・後】【予習復習に4時間】19世紀中葉における日本、および中国、朝鮮の社会状況をあらかじめ調べておくこと。また講義で紹介した参考文献をしっかりと読んでおくこと</p> <p>第8回 【授】日本の工業化と生糸 【前・後】【予習復習に4時間】養蚕がいかなる産地で営まれ、生糸が生産されていたか調べておくこと。また、講義で紹介した学説などについて、自分なりに調べる</p>	<p>第9回 【授】日本の工業化と木綿 【前・後】【予習復習に4時間】絹作がいかなる産地で営まれ、綿糸が生産されていたか調べておくこと。また、講義で紹介した学説などについて、自分なりに調べる</p> <p>第10回 【授】殖産興業政策と在来産業 【前・後】【予習復習に4時間】殖産興業政策について、事前に調べておくこと。また、授業で紹介した在来産業の例について、自分なりに調査すること</p> <p>第11回 【授】日清・日露戦後経営と重工業化 【前・後】【予習復習に4時間】日清戦争と日露戦争についての概要を把握しておくこと。また、講義で紹介した参考文献をしっかりと読んでおくこと</p> <p>第12回 【授】兩大戦間期の日本経済 【前・後】【予習復習に4時間】20世紀前半の国内外の情勢について把握しておくこと。また、講義で紹介した参考文献をしっかりと読んでおくこと</p> <p>第13回 【授】戦時経済体制と植民地 【前・後】【予習復習に4時間】第二次世界大戦時における日本の状況について把握しておくこと。また、講義で紹介した参考文献をしっかりと読んでおくこと</p> <p>第14回 【授】戦後占領政策と経済復興 【前・後】【予習復習に4時間】戦後の日米関係について把握しておくこと。また、講義で紹介した参考文献をしっかりと読んでおくこと</p> <p>第15回 【授】講義のまとめ 【前・後】【予習復習に4時間】これまでの講義の内容をしっかりと復習しておくこと。また講義で紹介した文献をしっかりと熟読し、自分のものとする</p> <p>第16回 【授】定期試験</p>
---	---

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験	25	15	10				50
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート	10	10					20
授業態度・授業への参加			20		10		30
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							

授業では、なるべく対話方式をとるので、積極的に発言をしてもらいたい。定期試験では論述形式の問題を出題する。定期試験終了後にポータルサイトより、全体の講評を行う。

教科書参考書

必要に応じ、授業で指示する。

受講に当たっての留意事項

日本史、および世界史に関する基本的な知識を事前に学んでおくこと。できれば、高校水準程度の日本史知識があることが望ましい。

学習到達目標

自分なりに日本経済の歴史的背景を把握、説明できるようになる。歴史的な観点から、日本経済の諸問題を考察する能力をみにつける。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習